

平成 29 年

火 災 統 計

千歳市消防本部

【平成 29 年中の火災概要】

1 総括

平成 29 年の火災件数は 23 件で、前年より 1 件増加しており、出火率は 2.38 となっている。

火気の取り扱いによる不注意等、人の行為によるものから 12 件の火災が発生している。

※出火率とは、人口 1 万人あたりの出火件数 全国 2.87、北海道 3.44(平成 28 年)

2 火災種別

建物火災は 16 件（全体の約 70%）で前年より 6 件増加、車両火災は 3 件で前年より 4 件減少、その他の火災は 4 件で前年より 1 件減少している。

3 死傷者

死者は 2 名発生し、前年より 1 名増加、負傷者はなく、前年より 2 名減少している。

4 損害状況

焼損棟数は 18 棟で前年より 2 棟増加、焼損面積は 431 m²で前年より 759 m²の減少となっている。

損害額は 19,744 千円で、前年より 115,777 千円減少し、建物及び収容物の損害額が 19,283 千円で全体の約 98%を占めている。

※損害額及び面積の減少の原因は、前年に発生した大規模な工場兼住宅の全焼から算出した数値が、前年の数値に含まれているためである。

5 出火原因

原因別では、「こんろ」が 4 件、「ストーブ」、「電灯・電話等の配線」がそれぞれ 2 件、「炉」、「放火」、「電気装置」、「たばこ」がそれぞれ 1 件、「その他」が 7 件、「不明」が 4 件となっている。

※「その他」とは、火災報告において定められた区分に分類されないものをいい、例として「ごみ焼きの火」、「車両の点火装置」などが挙げられる。

6 住宅火災の状況

専用住宅、共同住宅及び併用住宅における、居住世帯が存する建物の火災は 8 件で、前年同数となっている。

居住性を有する建物の焼損棟数は 8 棟で、り災程度は半損 1、小損 10 となっており、損害額は 9,190 千円で全体の約 47%を占めている。

り災世帯は 11 世帯、り災人員は 21 名で、前年より 1 世帯、2 名の減少となっている。

第12号様式（第19条関係）

月別火災状況

月 区 分			合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災 事件 数	計		23	1	1	1	3	5	2	3	2	2	2		1
	建	物	16	1				4	1	3	2	2	2		1
	林	野													
	車	両	3		1		1		1						
	船	舶													
	航	空 機													
	そ	の 他	4			1	2	1							
爆 発															
焼 損 棟 数	計		18	1				4	2	3	2	2	3		1
	焼 損 程 度	全 焼	2						1				1		
		半 焼	1					1							
		部 分 焼	3	1				2							
		ぼ や	10					1		3	2	2	1		1
	延 焼 棟	2						1				1			
面焼 積損	床 面 積 （ m ² ）		340					227	16				97		
	表 面 積 （ m ² ）		91	2				78					11		
	林 野 （ a ）														
り 災 世 帯	計		11					3		2	4	1			1
	全 損														
	半 損		1					1							
	小 損		10					2		2	4	1			1
り 災 人 員			21					4		5	8	2			2
死 傷 者 損	死 者 傷 者	消 防													
		一 般	2				1	1							
		消 防													
		一 般													
害 額	計（千円）		19,744	7	210		183	13,669	536	275	46	5	3,439		1,374
	建 物		14,352	6				12,689	209	57	45		893		453
	収 容 物		4,931	1				980	309	218	1	5	2,496		921
	車 両		436		210		158		18				50		
	そ の 他		25				25								

原因別火災状況

[illegible]

地域別火災状況

[illegible]

第14号様式(第19条関係)

時間別火災件数

[illegible]

第16号様式(第19条関係)

用途別火災状況

[illegible]